

自助・共助・公助

大災害が発生した場合、被害が広範囲に及ぶため、地域の防災機関による防災・救援活動だけでは十分に対応できません。災害による被害を最小限にするためには、**自助・共助・公助**の連携が重要です。平成7年の阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊などによる生き埋めや閉じ込められた人のうち、消防などの公的機関の救助によって救出されたのはわずか数パーセントでした。多くの住民は、自力または家族や隣人などの地域住民によって救出されました。災害直後は、いろいろな所で被害が発生し、全ての災害現場に公的機関の救助が駆けつけることは不可能になります。

《自助》

自分の身は自分で守る

《共助》

自分たちの地域は自分たちで守る

《公助》

行政や防災関係機関による救助・援助等

《自助》自分や家族での防災活動

被害を最小限に食い止めるためには、日ごろからの備えが大切です。災害時に慌てず行動ができるように、家族で「防災」について話し合いをもちましょう。

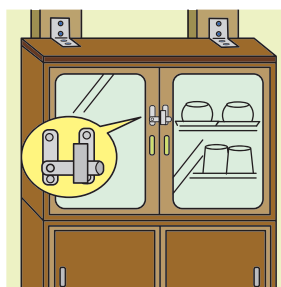
家族会議



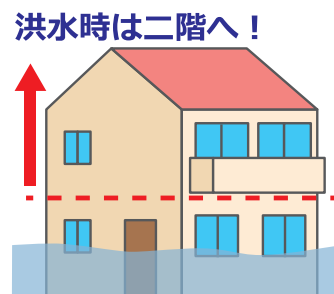
耐震診断・改修



家具の安全対策



身の安全の確保



マップをみて、自宅周辺の危険箇所は？

- これまで洪水で浸水した箇所がないか確認しよう
- 土砂災害警戒区域となっていないか確認しよう
- 避難場所までの危険な箇所がないか確認しよう

自宅周辺でどのような災害が起こる可能性があるかを確認しておこう!

避難経路・避難先は？

- 状況に応じた避難場所を確認しよう
- 避難所までの避難経路を考えておこう
- 設定した避難経路を実際に歩いて、危険箇所などを把握しておこう

避難先や複数の避難経路を家族全員で確認しておこう!

家族との連絡方法は？

- 誰に連絡をするか確認しよう
- どのような連絡手段を使うか確認しよう
- 災害用伝言ダイヤル・伝言板の体験利用をしよう

わが家の耐震性は？

- 家の中で危険な場所はないか確認しよう
- 屋外で危ない箇所はないか確認しよう
- 建物の状況を把握しておこう

防災・災害情報は？ 日ごろから情報ツールを活用しましょう!

- 防災メールの事前登録をしよう
- どのような情報ツールがあるか調べてみよう
- ラジオはすぐに取り出せる場所にあるか確認しよう

非常持出袋・備蓄品は？

- 災害時、だれが持ち出すか確認しよう
- 非常持出袋を置く場所を決めておこう
- 食料品・飲料水の賞味期限の確認をしよう

マイ・タイムラインを作ってみよう!

- 災害時に「いつ」「誰が」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災計画が、マイ・タイムラインです。

詳細は、下館河川事務所HP・みんなでタイムラインプロジェクトで!!

みんなでタイムラインプロジェクト [検索](#)

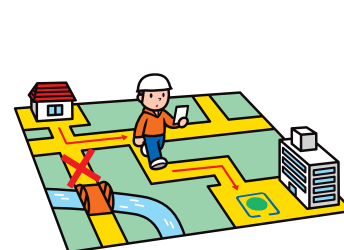
《共助》隣近所や地域での防災活動

地域住民が協力し合い、防災活動に取り組むことが、被害を軽減する大きな力となります。

地域の防災活動



危険箇所の共有



避難誘導



助け合って避難



初期消火



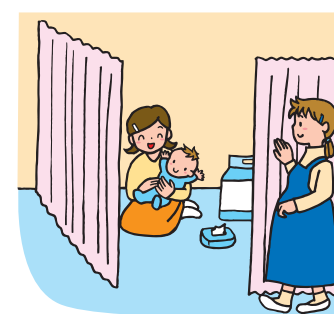
情報の共有



避難所等の運営協力



要配慮者対策

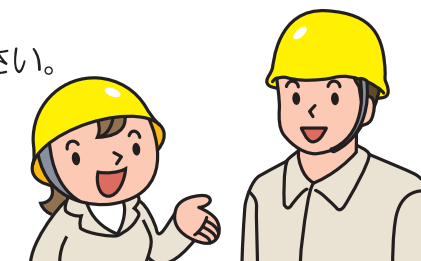


自主防災組織

自主防災組織とは、地域のみなさんが「自分たちの地域は自分たちで守る!」という共助の考えのもと、自主的に結成し、日ごろから自発的に防災活動に取り組む組織をいいます。市では、自主防災組織の結成及び活動に対して助成を行っています。詳しくは、下妻市役所消防交通課までお気軽にご相談ください。

自主防災組織の主な仕事

- | | | |
|-----|------------|-----------|
| 平常時 | ◎防災知識の普及啓発 | ◎危険箇所の把握 |
| | ◎訓練の実施 | ◎資機材の点検 等 |
| 災害時 | ◎情報の収集・伝達 | ◎出火防止 |
| | ◎初期消火 | ◎避難誘導 |
| | ◎救出救護 | ◎給食給水 |



自分たちの地域は自分たちで守りましょう!

《公助》行政・防災機関での防災活動

市全域にかかわる災害予防・対策に関することを、県・防災関係機関と連携して行います。

耐震化促進事業



自助・共助の推進



救助・救急活動



情報発信・伝達

